

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年12月13日

開催日	平成27年12月10日	時 間	10:00～11:45
場 所	金沢公会堂	出席人数	13名
講 師	真田 雅行氏	作成者	高杉 和枝
テーマ	第一学習 米倉家文書(徳川家康感状・御朱印・領地目録写)		
概要	<p>米倉氏についての説明</p> <p>戦国時代甲斐の国米倉の出で、そのご武川（むかわ）に移り、武田信玄に仕える。武川村では柳沢吉保（後の老中）の先祖と同郷であった。</p> <p>1582年勝頼の自刃後、武田氏から徳川氏に付き、二代忠継は徳川家康の岡崎に妻子を人質として預け徳川氏の臣下となる。</p> <p>米倉氏は第一次上田合戦で敗戦ではあったが活躍し、1586年に家康より感謝状を受け取っている。</p> <p>米倉当主は始祖から廃藩まで17代続いた。藩主のうち6人は婿養子が多かったのが特徴。</p> <p>六代昌純までの間に関ヶ原の戦い、大阪の陣、島原の乱に参戦する。</p> <p>七代昌忠の時、一万五千石の大名となり下野の国で皆川藩として陣屋を構える。昌忠は將軍綱吉に仕え、側用人から若年寄に昇進。</p> <p>十代忠仰（ただすけ）（柳沢吉保の子で養子）の時、武州金沢に来て金沢藩とした。幕末は江戸湾防備・將軍警備・長州征伐に出るが、慶喜の恭順により新政府軍についた。明治維新後は藩知事、県知事に任命された。</p> <ul style="list-style-type: none">・天保九年時の金沢藩の領地 <p>都賀郡（栃木市）・安蘇郡（栃木県栗野町）・埼玉郡（越谷市）・大住郡（秦野市） 洵綾郡（二宮）久良岐郡（金沢区）で分散されていた。</p> <ul style="list-style-type: none">・慶応四年の藩士数総数 108名 <p>徳川家康感謝状（第一次上田合戦等）</p> <p>この度は人質を差出した事、及び上田合戦では走りまわり活躍した事を大久保七郎右衛門が言っていた。喜ばしいことである。</p> <p>詳細については、別途七左衛門（大久保忠世）から話があるだろう。</p> <p>天正14年正月13日 家康判 武川衆中 宛て</p>		
予定	平成27年12月24日 10:00～12:00 於:金沢公会堂3号室 第二学習 オロシア風説和解他		